

平成 29 年度 安全保障貿易管理研修会

<輸出管理総合セミナー>

—輸出管理の基礎から応用・実践までを網羅する研修会—

平成 29 年 9 月 29 日(金)
 松本市:ピレネ 6F ホール

平成 29 年 11 月 2 日(木)
 福岡市:福岡商工会議所 5F 501

講師	プログラム
第1時限 (10:00-12:00)	安全保障輸出管理の基礎と最新動向
CISTEC 情報サービス・研修部 副主任研究員 小野純子	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 安全保障輸出管理と該非判定の基礎 ➢ 外為法改正に関する留意点 ➢ 防衛装備庁の NATO カタログ制度対応に関する留意点 ➢ 規制番号の EU 準拠に関する留意点 ➢ 中国輸出管理法制定の動き
昼食休憩 (12:00-13:00)	
第2時限 (13:00-14:30)	該非判定の実務と演習
CISTEC 参与 新留 二郎	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 輸出管理でもっとも難解とされる該非判定にチャレンジする ➢ 該非判定ツールを理解し、活用できるようになる
休憩 (14:30-14:45)	
第3時限 (14:45-15:30)	キャッチオール規制と取引審査
CISTEC 調査研究部 主任研究員 檜原 薫	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業におけるキャッチオール規制対応の重要性について ➢ 取引審査の進め方と確認ポイントを解説
第4時限 (15:30-16:00)	制裁関連、軍事関連企業等との取引上の留意点
CISTEC 理事 情報サービス・研修部長 高嶋 雅明	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 制裁下の国の企業や懸念軍事関連組織等との取引の可否をどう判断するか？ (軍民融合の深化) ➢ 顧客審査の深化—悩ましい判断の実例を紹介
休憩 (16:00-16:10)	
第5時限 (16:10-16:45)	米国再輸出規制への対応・制裁動向
CISTEC 参与 新留 二郎	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 日本の企業や大学は米国輸出規制に対応する必要があるのか？ ➢ 米国における対北朝鮮関係二次制裁の動き
16:45～ 輸出管理個別相談会(ご希望者のみ)	
➢ 皆様の組織におけるお悩みを講師が個別にお答えいたします。	

*プログラムは予告なく変更となる場合がございます。悪しからずご了承くださいませ。